

令和7年度 歴史に憩う橿原市博物館 企画展 開催要項

趣 旨：「大和八木駅を降りるとそこは…すごい遺跡の宝庫だった！」イコハクではこの夏、「駅前考古学」と称し、近鉄大和八木駅から徒歩約5分圏内の発掘調査成果を紹介する。
行き交う人々の喧騒でにぎわう近鉄大和八木駅周辺では、これまで多くの発掘調査が行われてきた。展覧会を通して、①八木駅周辺（「八木近」と呼称）がどのような場所であったか、②現在の街の様子からは想像できない「八木近」の姿を披露し、私たちの暮らしは先人の営みの積み重ねの上に成り立っていることを紹介する。また、遺跡の深さにも着目し、そこに深い歴史を感じてもらうことで、文化財に対する理解と親しみを深めてもらう機会とする。

テーマ：『八木駅ちかくの考古学～改札出ればそこは遺跡～』

期 間：令和7年7月19日（土）～10月5日（日）

場 所：歴史に憩う橿原市博物館 2階特別展示室

展示構成（予定）

コーナー1「八木近の黎明～橿原を拓く～」(覗き見ケース)

八木近で人々が暮らし始めた時代を紹介する。

コーナー2「八木近の発展～やってきた渡来系技術と古墳」(壁ケース・行灯ケース)

市内でも早い段階で渡来系技術や文化が栄えた八木近の様子を紹介する。

コーナー3「八木地下から地上へ～^{みやこ}京の造営と幹線道路～」(壁ケース)

八木近で確認した藤原京の発掘調査成果や、京造営の基準となった下ツ道や横大路を紹介する。

コーナー4「八木近に隠された歴史～平城京遷都の後～」(ハイケース)

平城京遷都後、市内各所で耕地化が進む中、八木近には人が暮らし続けていることを紹介する。

関連イベント

○講座（予定）

令和7年8月17日（日）2講演

①「八木駅ちかくの考古学」杉山真由美（当市職員）

②「八木駅ちかくの古墳群と工房」露口真広・平岩欣太（当市職員）

会場：シルクの杜教室（3）（橿原市川西町 855-1）

○ワークショップ「イコハク Labo.」開催予定

○イコハク動画

完成次第、YOUTUBE 上で公開。

主催者：橿原市魅力創造部文化財保存活用課（歴史に憩う橿原市博物館）

担当者：橿原市魅力創造部 文化財保存活用課 主査 杉山真由美

連絡先：歴史に憩う橿原市博物館（橿原市川西町 858-1. 0744-27-9681）